

図書館だより

NO. 141 2009年 11月号
(2009年11月1日発行)

はつかいち市民図書館(廿日市市下平良1-11-1)
電話(0829)20-0333

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

図書館を気持ちよくご利用いただくために

図書館は、誰でも利用することができる公共施設です。子どもからお年寄りまで多くの方がご利用になります。多くの皆さまにとっては当たり前のことですが、利用されるすべての方が気持ちよくご利用いただくために皆さまのご協力をお願いします。

☆ものを食べる 飲む

館内での飲食はご遠慮ください。ペットボトル等を持ち込まれる場合は鞆に入れて入館してください。ガムや飴もご遠慮ください。

☆新聞や雑誌をひとり占めする

新聞や雑誌を館内で読みたい場合は、一誌ずつお持ちください。

☆大きな声ではなす 大きな音をだす

お子さまの監督は、保護者の責任でお願いします。
静かな環境を保つため、おしゃべり等は館外でお願いします。

☆携帯電話をかける 写真を撮る

館内では電源を切るかマナーモードに設定し通話はお控えください。
館内および資料の無断撮影はご遠慮ください。

☆横になる 眠る

他に着席したい人もいらっしゃいますのでご遠慮ください。

<今月の展示>

<さくらぴあ展示>『コンサートへ行こう!』

さくらぴあでは、さまざまなコンサートが開催されます。今月は、コンサートを楽しむための裏技や舞台裏を紹介した本を展示します。

<中央展示>『プラチナ世代へ贈る本』

広島県では、概ね55歳以上の人たちの社会参加を支援するために「プラチナ世代」と呼称しています。今月の中央展示では、「趣味」「ボランティア」「健康」「衣食住」「お金」「昭和」をキーワードに、第二の人生を謳歌するための本を展示します。

<児童展示>『家族の本』

人間の家族はもちろん、動物の家族に虫の家族・・・そしてオバケの家族まで?! いろんな家族の絵本が見つかるよ。今月は心温まる家族の本を集めてみました。

<テーマ展示>『昭和のベストセラー』

もう一度読んでみたい「昭和のベストセラー」を展示します。この機会に、懐かしい本に出会っていませんか?

さつき読書会情報

毎月1冊課題図書を決めて、本の感想を自由に語り合っています。

みんなで、本のおもしろさを分かち合える「さつき読書会」に参加してみませんか？

<活動日>第3水曜日10:00~12:00

<場所>さくらびあ会議室など

<会費>1,200/月(3カ月分前納)

<講師>深川賢郎 先生

~9月読書会課題図書「時のほとり」~

「時のほとり」「生きてゆく表情」「出逢ったひと」の3章からなる本書は、澤地久枝のエッセイ集です。戦争・政治・旅行・弱い立場の人や日常生活のことなど多岐にわたる内容で、心に湧きあがってくる語っておきたいことが描かれています。ノンフィクション作家で昭和史研究者として、正直に、事実に基づいて書かれている姿勢が伝わってくる文章は、少し堅苦しいところもありましたが、興味を持って読み終えることができました。幅広い交友関係があり、1人1人の出逢いをとても大切にしている著者は、いい友人は人生のこの上ない財産で、優れた水先案内人と書いていました。また、不器用ながら人への気の使い方、距離の置き方には親近感を持ってました。

読書会会員：松岡聡子

郷土資料紹介

『宮島の植物と自然(配布版)』

広島大学大学院理学研究科 H472.1/ミ
附属宮島自然植物実験所/編 2007年

宮島は、世界遺産や日本三景安芸の宮島として、日本だけでなく世界各国から毎年多くの観光客が訪れています。厳島神社や大鳥居、もみじまんじゅうなどのイメージが先行しがちですが、実は、国の天然記念物「弥山原始林」という自然の宝庫があります。そこには、宮島でしか記録されていない植物や、植物分類学上あるいは植物地理学上貴重な植物も少なくありません。

本書では、豊かな自然が残っている宮島の植生とその植物について詳しく解説しており、野外観察にも活用できます。

〔はじめに〕では、「広島には、未だ自然史博物館がなく、自然を理解するための教育環境は十分に整っているとは言えません。しかし、宮島というすばらしい環境が身近にあります。この本が一人でも多くの人にとって宮島を好きになるきっかけにさらには自然の大切さを考えるきっかけになれば、著者らにとって本望です。」と述べられています。

廿日市市に關係する資料は、一番奥の「N」の棚にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『心がぼかぼかするニュース』 社団法人日本新聞協会/編 文芸春秋 049/コ
- 『賢者の書』 喜多川泰/著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 159/キ
- 『一流の人ほど小さな仕事をバカにしない』 山崎武也/著 日本実業出版社 159/ヤ
- 『戦国武将の脳』 津本陽・板倉徹/著 東洋経済新報社 281.0/ツ
- 『生命の音楽 ゲノムを超えて』 デニス・ノーブル/著 新曜社 460/ノ
- 『新型インフルエンザはなぜ恐ろしいのか』 押谷仁・虫明英樹/著 NHK出版 S498.6/オ
- 『キリマンジャロの雪が消えていく アフリカ環境報告』 石弘之/著 岩波書店 S519.2/イ
- 『stillさんのすぐに作ってあげたいときのレシピ』 still/著 主婦と生活社 596/ス
- 『知識ゼロからの食べる庭づくり』 桐原春子/著 幻冬舎 626.9/キ
- 『知識ゼロからのミュージカル入門』 塩田明弘/著 幻冬舎 775.4/チ
- 『さよなら私』 みうらじゅん/著 講談社 914.6/ミ
- 『これでよろしくて?』 川上弘美/著 中央公論新社 F/カ
- 『犬と鴉』 田中慎弥/著 講談社 F/タ
- 『きなこ 夢をおいかける犬』 百瀬しのぶ/著 小学館 F/モ

『マグロをそだてる—世界ではじめてクロマグロの完全養殖に成功!—』

監修/熊井英水 文/江川多喜雄 絵/高橋和枝 アリス館 666/1

マグロの王様クロマグロは、広い海を一生泳ぎ続けて生活する魚で養殖は不可能といわれてきました。ところが、クロマグロの子を採集し、飼い、その魚が産んだ卵をふ化させ育てるといふ、マグロの一生を人の手で管理する完全養殖を試みた人達がありました。研究は困難の連続でした。成功までの32年間の道のりを書いた本です。

『こうえんのかみさま』

すぎはらともこ 徳間書店 E/ス

まあは、おとなりのけんちゃんが大好きなのに、遊んでももらえない。虫捕り上手になったら、遊んでもらえると考え、虫捕りに挑戦。やっとでっかいとんぼを捕まえると、なんと、こうえんさまというへんなおじさんもいっしょに捕まえてしまった。軽いタッチで描かれた絵本。

『レオナルド・ダ・ヴィンチ』

著ジョン・フィリップス 訳大岡亜紀/小野田和子 BL出版 702/1

謎めいた微笑で有名な『モナリザ』や『最後の晚餐』を描いたダ・ヴィンチは、美術だけでなく、建築、人体解剖、戦争、科学、発明とさまざまな分野の技術をもち、幅広い才能を発揮しました。ものの体質を探求した彼は、550年以上前にイタリアの片田舎で生まれました。本書は、彼の生涯をたくさんの写真とわかりやすい文で紹介しています。

『がまんのケーキ』

かがくいひろし 教育画劇 E/カ

こいたろうとかめぞうは、目の前のケーキが食べたくて食べたくて、もうがまんができません。食べようとしたとき、おいしい紅茶を買ってくるというけるこの置き手紙を見つけ…。絵も文もユーモアいっぱい、みんなの大好きな絵本をたくさん描いてくださった画家かがくいひろしさんは、9月28日永眠されました。ご冥福をお祈りいたします。

ミニブックトーク

読書の秋にぴったりの作品です!

今秋、シリーズが完結した作品『獣の奏者』と『ステフィとネッリの物語』を紹介します。

まずは、日本の作品『獣の奏者』。著者は「守り人」シリーズの上橋菜穂子です。

獣ノ医術師のエリンの母は、鬪蛇を死なせた責任でエリンの目前で処刑されます。みなしごになった彼女は、蜂飼いのジョウンに育てられ、母と同じ獣ノ医術師の道を選びます。成長したエリンは、天を翔ける野生の王獣を操る術を見つけ、そのことで国の政りごとに否応なく関わらざるを得なくなります。エリンの希望や苦悩が描かれた作品は2巻で終わりでしたが、あとがきによると、著者はく人という生き物の群れと滔々たる流れのようなものが見えた瞬間、エリンが著者の中で再び呼吸し始めてエリンのその後を書こうと思ったそうです。エリンは、結婚して一児の母となり、夫イアルと共に親子三人が平穏に暮れたいと願って、決してすまいと決めていた王獣を武器に変える仕事に取り組みます。4巻の大河物語は、少女から母親になったエリンと王獣の壮大なファンタジーです。

2作目はスウェーデンのアニカ・トールの作品。ユダヤ人のステフィとネッリの姉妹は、ウィーンで医者父と母と暮らしていましたが、ナチスの迫害により両親は収容所へ送られ、姉妹はスウェーデンの西岸の島で別々の家庭で養われることになりました。島に着いた時、姉のステフィは地の果てにきたと思ったほどの孤独感を味わいます。しかし、両親の安否も分からない不安と慣れない環境の中でも、二人はたくましく成長していきます。底に流れるテーマは、「戦争」や「人種差別」と重いけれど、姉妹や二人をとりまく人々の姿がていねいに描かれたこの作品は、1冊読み終えるたびに続きが読みたくなるほど、読者の心をつかんで離しません。

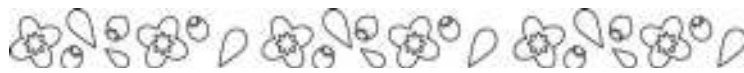
両シリーズとも、夫婦、親子、姉妹という家族の中で相手を思う気持ちや喜び、苦悩や葛藤などの心のひだが繊細に描かれて見事です。主人公たちが逆境を乗り越え、自分の人生を前向きに生きる姿には感動します。読み進むうちに、私は両作品とも先を知りたいという思いと、物語がまだまだ終わってほしくないという思いが交錯しました。読後も当然、反すうするように物語に思いを巡らせていました。深い感動を呼ぶ二つの長編は、読書の秋にぜひお薦めしたい作品です。

『獣の奏者』鬪蛇編 王獣編 探求編 完結編 上橋菜穂子著 講談社 913/1

『海の島』『睡蓮の池』『海の深み』『大海の光』ステフィとネッリの物語 4部作

アニカ・トール著 菱木晃子訳 新宿書房 949/1

子どもと本の講座



新刊絵本の紹介

2008年11月～2009年10月の間に、はつかいち市民図書館で購入した新刊絵本の中から、図書館員がお薦めの本を紹介します。

事前の申込みは不要ですので、多数のご参加お待ちしております。



と き：12月3日（木）10:00～12:00

と ころ：廿日市市役所7階会議室

対 象：一 般



11月の図書館カレンダー

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----------|----------|---------|----|---------|---------|
| 1 | 2 休館 | 3 | 4 休館 | 5 | 6 ◎ | 7 |
| 8 | 9 休館 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 ★ |
| 15 | 16 休館 | 17 | 18 | 19 | 20 ◎ | 21 ■ |
| 22 | 23 | 24 休館 | 25 | 26 | 27 | 28 ★ |
| 29 | 30 休館 | | | | | |

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～

【時間】11時～

